

海外グループ会社

ゼオンケミカルズ社 (ZCLP)

会社紹介

ゼオンケミカルズ社(ZCLP)は、1989年にB.F.グッドリッチ・ケミカル社のエラストマー部門を買収し、同年米国テキサス州パサデナに建設した水素化ニトリルゴム工場を統合して設立しました。アクリロニトリルブタジエンゴム、アクリルゴム、水素化ニトリルゴム、エピクロルヒドリンゴム、Zeotherm[®](ゼオサーム)など合成ゴム製品を生産する一方、シクロオレフィンポリマー、ステレンイソプレンブロックポリマー、RIM(反応射出成形品)、電子材料なども販売し、北米を中心に事業を展開してきました。また、ゼオンブラジルを拠点に南米にも事業を拡充しています。2013年にはケンタッキー工場のアクリルゴムの生産能力を増強し、今後も、さらなる事業拡充を目指しています。



Tom Gettelfinger 社長



アクリルゴム生産能力増強工事

環境安全活動

1. Zeon Green Award

ZCLPは、サプライヤーやお客様とのサプライチェーンも考慮して環境問題に取り組んできました。2013年には「Zeon Green Award」と称して、ZCLPが取り組む環境活動に協力くださった企業約20社を表彰させていただき、記念の盾を贈呈しました。例えば、米国オハイオ州にあるゴムコンパウンド会社のGold Key社は、ゴムを出荷する時に使用していた木製やダンボール製のステックをこれまでは廃棄していましたが、金属ステックに変更してリサイクル利用することに、いち早く協力くださいました。廃棄物を削減できただけでなく、包装コストの削減にもつながりました。今後もサプライチェーンの皆様の協力をいただきながら環境問題に取り組んでいきます。



Zeon Green Award

2. 従業員の健康推進

従業員や家族が健全な生活習慣を定着できるように、健康推進に取り組んでいます。一例として、従業員とその家族の禁煙を援助するプログラムがあり、禁煙を試みる従業員が定期的に会合を開き、成功例を共有したり励まし合うなどしています。

3. 環境関連データ

ゼオンケミカルズ社(米国):ケンタッキー		2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	7	7	8	8	8
	使用量(トン)	6,459	17,691	18,189	16,260	14,927
	排出量(トン)	33	39	43	28	20
産業廃棄物	減容前発生量(トン)	671	770	720	572	505
	埋立処分量(トン)	645	736	689	552	478
水資源(工業用水+地下水+上水道)使用量(千 m ³)		-	-	1,080	965	957
CO ₂ 排出量(トン)		22,799	34,648	34,755	32,217	31,741
エネルギー使用量(原油換算、kL)		6,909	11,170	11,048	10,136	9,820

ゼオンケミカルズ社(米国):テキサス		2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	0	0	0	0	0
	使用量(トン)	0.0	0.0	0.0	0.0	0
	排出量(トン)	0.0	0.0	0.0	0.0	0
産業廃棄物	減容前発生量(トン)	24	42	39	32	47
	埋立処分量(トン)	3.9	1.4	1.0	1.2	2
水資源(工業用水+地下水+上水道)使用量(千 m ³)		-	-	198	234	226
CO ₂ 排出量(トン)		5,419	10,426	10,325	9,965	10,059
エネルギー使用量(原油換算、kL)		1,509	3,093	3,065	2,945	2,940

ゼオンケミカルズ社(米国):ミシシッピー		2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	3	3	3	3	3
	使用量(トン)	2,633	5,466	5,160	4,444	4,933
	排出量(トン)	39	76	70	47	48
産業廃棄物	減容前発生量(トン)	57	53	41	22	44
	埋立処分量(トン)	57	53	41	22	44
水資源(工業用水+地下水+上水道)使用量(千 m ³)		-	-	152	134	142
CO ₂ 排出量(トン)		13,097	22,375	19,256	17,925	17,133
エネルギー使用量(原油換算、kL)		5,350	9,652	8,157	7,514	7,122

地域との共生活動

ZCLP は、これまで地域社会へボランティア活動や寄付活動などを続けてきましたが、2013 年は、Science, Technology, Engineering, Arts, Math の頭文字をとって「S・T・E・A・M」と称する地域の小学生を対象にした科学技術展に出展しました。ケンタッキー州最大都市のレイビルに住む 400 人を超える小学生が招待されました。日ごろ環境問題を実感できる機会が少ない小学生たちが、ケンタッキー地域の科学技術の発展の歴史と農業や環境との共存の大切さを、化学実験や七面鳥とのふれ合いを通じて ZCLP の従業員と一緒に学習しました。今後もこうした地域との共生活動を続けていきます。



S・T・E・A・M